

地震

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

○静岡市清水区の地震による危険

最大震度6強～7の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生する可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

情報収集手段に関する紹介

避難情報やハザードマップが確認できます。

静岡県防災アプリ



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。

気象庁キキクル



避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。

静岡市防災メール



防災情報が電話から音声で確認できます。

静岡市防災情報(電話)



※避難先が分からない場合は、静岡市HP(指定緊急避難場所・指定避難所一覧)や静岡市地理情報システム しすマップ で確認しよう!

わたしの避難計画 作成ガイド

静岡市 清水区 興津地区 (興津井上町)

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認



大雨

手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

P1

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P2



地震

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

P3

P4

<見本>

静岡市清水区■ ■ ■ 地区
「わたしの避難計画」

作成日 R〇〇年〇〇月〇〇日

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう！

●家族の状況 ガイド手順①参照

●避難に時間がかかる人

いる _____人

いない

【注意点】避難に時間がかかる人がいる場合は、避難のタイミングを早くする必要があるよ。

大雨が降った時 ガイド手順②③参照

●河川氾濫のおそれ

おそれなし

おそれあり 家屋流出のおそれあり
浸水深 0.5m 浸水のおそれあり
(河川の浸水想定区域に居住)

【注意点】大雨になると氾濫のおそれがある場合、安全な避難地へ避難が必要です。

●土砂災害のおそれ

おそれなし

おそれあり 土砂災害危険箇所
 土砂災害(特別)警戒区域

【注意点】大雨により土砂災害のおそれがある場合、安全な避難地へ避難が必要です。

●メモ(自由記入欄)

●持出品リスト 災害時に持っていくものにチェックを入れよう！

現金・通帳 携帯ラジオ 携帯電話
 充電器 携帯電灯 マスク
 飲料水 非常食 着替え
 常備薬・持病薬 消毒液 体温計
 その他の持ち物

●緊急連絡先

●●さん ○○-×××-△△△△

●雨雲やおぼつかないときにいつでも避難地に貼っておこう！

●いつでも避難地へ向かって安全行動しよう！

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

次のページに進もう→

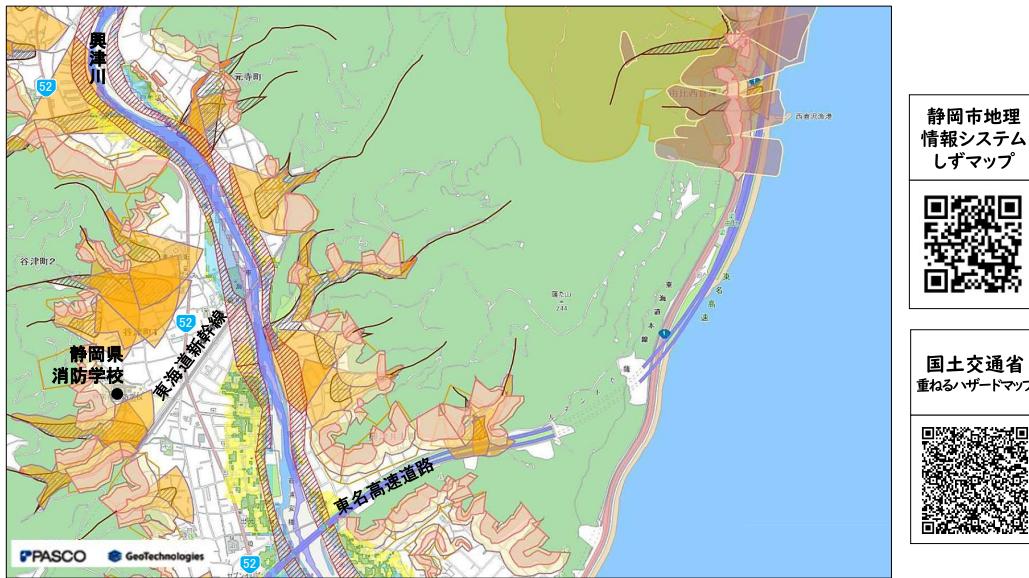
P1

大雨(河川氾濫・ 土砂災害)

手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

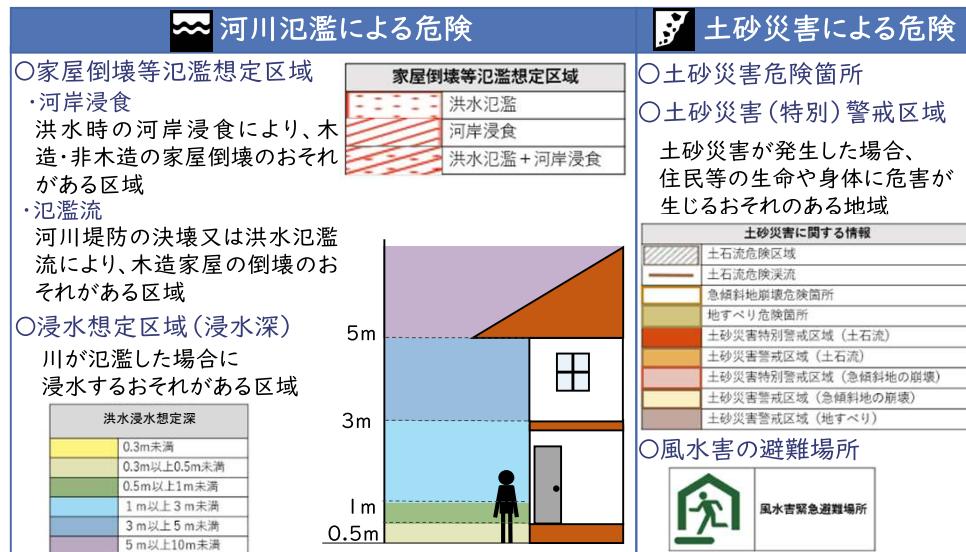
見にいく場合は「静岡市地理情報システム しづマップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しましょう。



※内水についても、静岡市地理情報システム しづマップ で確認してみましょう。

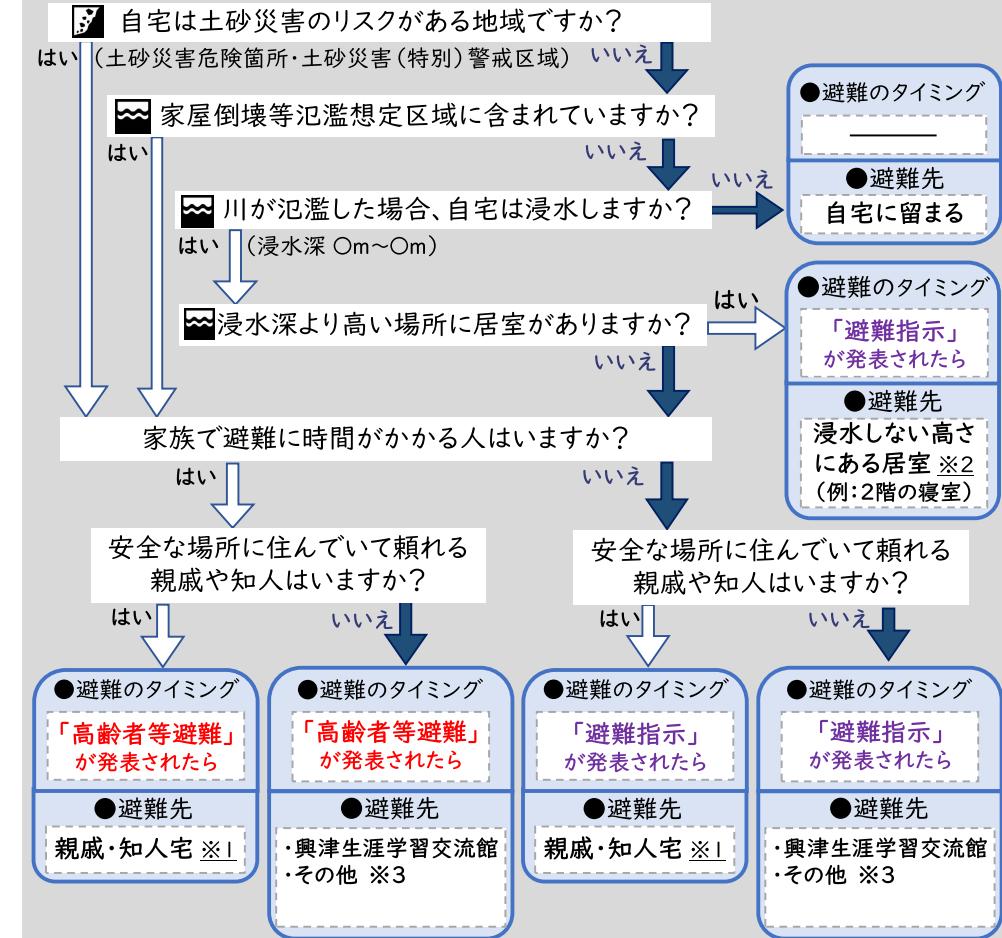
出典：静岡市防災情報マップ（※令和7年1月31日から「静岡市地理情報システム しづマップ」に移行しました。）

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう



手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。

※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ・携帯トイレ」などを準備しておきましょう。

※3 小学校、中学校以外の避難先については、自治会に確認しましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

気象警報、避難情報、同報無線の放送、避難場所の開設状況

- ・静岡市公式LINE
- ・静岡市防災メール
- ・静岡県防災アプリ



避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ

